

学校の応援団

奈良教弘NEWS

奈良教弘 南大路2-1-1
奈良市 二条2-1-1
株式会社 奈良教弘

フレッシュティチャーズキャンペーン

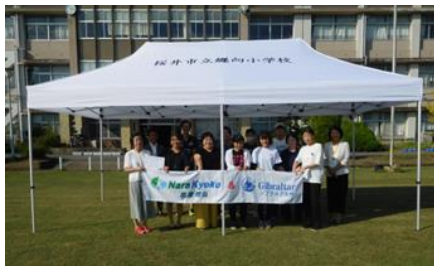
纏向小学校へワンタッチテントを寄贈！

2024年10月2日、ジブラルタ生命から新任の先生を応援する「フレッシュティチャーズキャンペーン」で学校賞に当選した桜井市立纏向小学校に、テントの寄贈があり、奈良教弘の役員も参加した。

当日、芝生の運動場に組み立てられたテントを前に奈良教弘の山口参事が司会を務め贈呈式が行われた。ジブラルタ生命学校担当者川畑太津子ライフプラン・コンサルタントと水守琢也マーケティングディレクター同席のもと、ジブラルタ生命天理営業所の西村修一所长から平井史教頭に記録が手渡された。

平井教頭先生からは、「このようなテントをいただき、本当に嬉しく思います。もうすぐ運動会もありますので早速使わせていただきます。大事にしたいと思います。ありがとうございます。」という言葉で頂戴し、後日、松室明夫校長からは「校名が大きく入っていて立派なテントでびっくりしました。本当にありがとうございます。」という言葉で頂戴した。

天気が下り坂のため、贈呈式後には、早速先生方が慣れた手つきでテントを折り畳み校舎内に収納された。(山口智美)



FTC テント贈呈式
纏向小学校

ボランティア・スピリット・アワード 未来を描くチカラ

「ボランティア活動に当たり前に取り組むことができる社会の実現を目指して」米国プルデンシャル・ファイナンシャルが開発した国際的な青少年のボランティア支援プログラムで、日本では1997年にスタートした。社会課題に気づき、それを自身の課題と捉え、挑戦と克服を繰り返しながら成長する中学生・高校生に、賞を通して称賛と感謝を贈るとともに、情報交換、交流、活動発表の場を提供し、「未来を描くチカラ」をキャッチフレーズとして、「誰かのために何かを変える」ことを目指し、自ら行動を起こしている中学生・高校生を応援するものである。

誰かのために手を差し伸べてみることに。それは他の動物にはできない。人にしかできない行為。誰かが誰かのためにアクションする。

今年度、奈良県の受賞者は以下の通りである。

*中学生部門・コミュニティ賞

育英西中学校 子どもたちに笑顔を宅急便

育英西中学校 文房具プロジェクト

*高校生部門・ブロック賞

育英西高等学校 奥田 心音

西大和学園高等学校 Make People Smile(MPS)

*高校生部門・コミュニティ賞

奈良県立五條高等学校 ビジネス部

奈良県立商業高等学校 桜プロジェクト

奈良県立商業高等学校 部局たまつえ

(村田貴)

職場体験学習受け入れ 奈良市立伏見中学校二年生

ジブラルタ生命・奈良教弘では、将来に夢と希望を持ち、活力に満ちた生徒を育てるために、職場での社会体験を通して「働く大人」と接し、働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学ぶことで勤労観や職業観の育成だけでなく、新たな自分を発見する場、人間関係の大切さを体得する場、学校と社会をつなぐ場として職場体験学習の受け入れを続けている。今年度も、10月23日に伏見中学校から6名の生徒が体験した。

奈良教弘の長浜代表からは奈良教弘が学校や学ぶ子どもをどのように応援しているか。ジブラルタ生命マーケティングディレクター水守さんからお金の大切さ、金融教育の必要性が語られた。

最後に、長浜代表から「自分の夢をしっかりと見つけ、それを実現させるプロセスをイメージして全力で挑戦し夢を叶えてほしい」というメッセージが贈られた。体験した生徒から以下のような感想が寄せられた。

「奈良教弘とジブラルタ生命の関係性や学校の応援団であることがよくわかった。助け合いの輪という考え方が世の中にもっと広がってほしい。心に残り、生まれ、よりよい社会ができると思った。」

「まだ早いと思うていたが、今から将来のライフプランを考えたい。」

(村田貴)



奈良教弘会議スペース

新人紹介

名前：津川 弘貴
(ツガワ ヒロキ)
担任校：名柄小学校
奈良第三営業所
学校担当：LC



担任校：名柄小学校
葛上中学校
担任校のみなさまへ

初めまして。桜井市出身で小学校から高校まで野球に打ち込み青春を楽しんできました。その中で協調性や忍耐力を培い、またスポーツの素晴らしさを学び、当時の先生方にも大変熱心にご指導いただき、そのおかげで社会の厳しさに挫けることなく今の私があることに感謝しております。

前職は、人と話すことが好きでまた乗り物好きもあり、自動車会社に勤めておりましたが、過去に自身の大切な家族を失った経験があり、その時の生命保険の重要性・必要性を改めて感じ、もっと皆様にも届けたい・お役に立ちたいと強く思いジブラルタ生命に入社しました。担任校の皆様にお役に立てますよう一生懸命頑張りますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

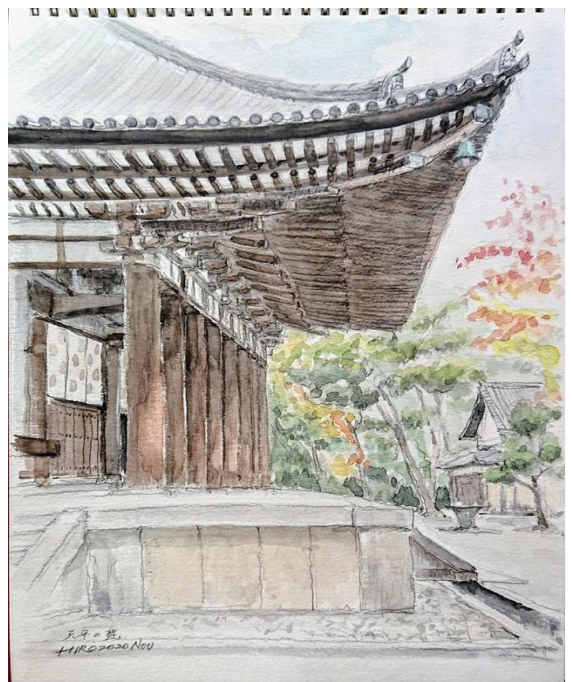
地域への思いを込めて

ジブラルタ生命では、国際ボランティアアデーに先立ち、各営業所で、日頃お世話になっている地域に恩返しするために奈良教弘の参事とともにボランティア清掃活動を行った。写真は、10月10日五條営業所での様子である。道路の側溝に生えた草引き、空き缶拾い、タバコの吸い殻などをゴミ袋いっぱい集め、気持ちのよい汗を流した。

(村田貴)



奈良百景



唐招提寺金堂です。県内の盆地では紅葉が始まり木々が色づいてきました。

唐招提寺は、天平三年(七五九年)唐の高僧鑑真和尚が仏教の戒律を学ぶ人の修行道場として開かれたお寺です。南隣にある薬師寺と対照的に天平時代からの質素なたたずまいのお寺です。それ故、木々の鮮やかな色とのコントラストが素晴らしい景色をつくっています。

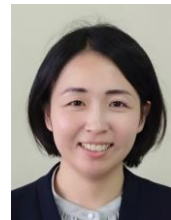
金堂は、国宝で奈良時代建立の寺院金堂としては現存する唯一のものである。左右の鴟尾と屋根の美しさは、一三〇〇年間人の心を魅せてきたのも頷けます。

それにしても、唐招提寺は受付で「絵を描かせてもらってもよいですか」とお願いすると、「どうぞ」と即答。鑑真和尚の懐の深さを感じさせる一コマでした。

(大山浩史)

新人紹介

名前：樋口 奈津子
(ヒグチ ナツコ)
経歴：一般企業を経て現職
担任校：あやめ池小学校
富雄北小学校
富雄中学校
担任校のみなさまへ



担任校のみなさまへ

はじめまして。樋口奈都子と申します。生まれも育ちも奈良県です。高校までは公立学校に通い、バレーボール部に所属し忍耐力を培いました。その後、大阪モード学園に進学し服飾の路に進みました。今でもものづくりが大好きです。

私には小学生の息子が二人います。日頃より学校にお勤めの皆様には大変お世話になり感謝しております。今後は私が皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

10月7日「丹波篠山黒枝豆」が販売解禁日となった。小生もこの日を楽しみに毎年現地まで足を運び購入している。丹波黒豆の素晴らしさを語るエピソードとして、「丹波黒豆を献上したら、厳しい年貢を払わなくてよかった」というものがある。大凶作に襲われた年でも年貢は科せられるが、丹波黒豆を収めたところ、そのおいしさが認められ、年貢が軽くなったようだ。

帰宅後、冷えたビールのお供に食すると、大粒でほっくりした甘みや美味しさをかみしめ、エピソードも納得できた。

もうひとつ丹波と言えば「丹波栗」。丹波の風土が栗の育成に適し、度重なる改良と丹波地方独特の濃霧などの気候、そして生産者の努力で日本最大級で最高の風味の栗と言われ、朝廷や幕府に献上されていたそうだ。今年は訪れた時期が遅く、収穫量も少ないようで現地で購入することが出来なかったが「小田垣豆堂」のお庭を眺めながらモンブランをいただきました。

(村田貴)